

新しい村づくりの礎石に

十月廿建設班開始!!



十二月十五日、結班式に参列された、県野地拓殖課長、大洲財務所長、大洲農林事務所長その他村内各機関団体代表者の激励をうけて宿舎に入った班員は、同夜直ちに全体会議を開き、今後の生活と学習活動について話し合い、第一回班としてよりよい実績を残すべく誓い合つて、それぞれ夢を抱いて眠りに入つた。

六時起床、第二日は全日学習である。午前中宿舎その他の整備をして、午後は、県経済課の講師によつて、新農村建設総合対策についての学習である。農村計画の歴史、現在新しい村づくりの必要とされる内外の事情、村づくりの必要とされる内外の事情、村づくりのための調査のやり方等、熱心に勉強を続ける。夜は班活動、班長、委員等の選出をする。

第三日は、午前中、大洲高等学小沢先生の石油問題を中心とした、日本とドイツの再建ぶりの比較と、相続法の話の聞く。午後は村宇都宮技師の農業土木の講義と続いて三日の眠りに入る。

八日の日曜を終つて帰ると、作業学習も本格化するし、病気や仕事の関係でおくれている班員も帰つて来る。生活に学習に、作業に、班員の目は、希望と明るい若さに燃えている。班員の募集中、色々、とやかくの意見もあつた模様であるが、生活の内容を直接目で見ると、それが単なる心配にすぎなかつたことが分る。現在参加している班員も、より多くの青年の参加を希望している。

歳末たすけあ、運動

社会福祉週間

自十二月一日
至十二月末日

最近国民生活はやゝ安定してきといわれるが、なお県内には約二十万人と推定される生活困難者があり、引揚者未帰還者留守家族等がきわめて不安定な状態におかれています。いよいよ歳末を迎え、かゝる境遇のかたがたをたすけあおいによつて援助するため十二月を社会福祉月間として全国的に歳末たすけあい運動、引揚援護愛の運動を展開し、これらの人々の明るい越年を期せんとするものである。

生活困難者等恵まれない人々の現状と実情に思をいたし村民ごぞつてたすけあい運動に協力の程を切にお願する。

金品、衣料、米麦、もち、図書等なんでも結構、心からなる同情をお届け下さい。主として地域内の生活困難者に配分する予定である。

本運動の取りまとめは村役場厚生係が当つてゐる。

自任官 募券集

昭和三十二年度第三次志願受付は十一月二十日から、昭和三十三年一月十一日までである。志願希望者は、村役場に志願用紙があるから申出られたい。

青年学級研究協議会

十二月十六日に開く*
村内各単位青年学級代表者が集り、青年学級の運営を中心に熱心な話し合いを行つた。

- 運営責任者の研修
- 学級の本質、内容、運営
- 運営上の盗路
- 県青年学級研究会への参加
- 農建隊との連絡、協力

*肱川村婦人会
役員会が開かれた*

十二月十四日、肱川村婦人会

では役員会を開き、次のような協議が行われた。

- 愛の餅運動をくり広げる
- 成人式に協力する
- 歳末たすけあい運動に協力する
- 村内指導者研修会の計画を進める
- 農協婦人部関係についても種々協議研究を行つた。
- 特に愛の餅は正月用の餅を二日三日頃集めますから、一戸五箇位の割合で贈つて下さい

犬狂病予防月間*

自十一月二十五日
至十二月二十五日
一、飼犬は必ずつないで飼ひましょう
二、犬の登録 生後九十一日以上以上の犬を所有し、又は管理している人は必ず年一回市町村役場に登録し、かんさつの交付を受けて下さい
三、予防注射 生後九十一日以上以上の犬を所有し、又は管理している人は必ずその犬に年二回の予防注射を受けて下さい

農業委員会委員選挙人名簿調製について

この選挙人名簿は毎年十二月一日現在で各有権者から申請書の提出をとり、これをもとにして調製してあります。本年も十二月村常会に部落長さんにお願して、用紙を配布しますから、該当者はもれなく記入申請書を十二月末迄に農業委員会へ提出して下さい。なほ資格の概要は本村に住居を有し一一反歩以上の耕作面積を有し且つ年六〇日以上農耕に従事する

労働力の調査

経営主及びその同居の親族並にその配偶者です。

総理府統計局指定統計の労働力調査は国民の仕事の状態、職業、労働時間等を月々調査して経済問題等重要な資料とするものであり昭和二十一年から全国的に調査区を指定して行つておるものです。

本村は九月より十一月まで、小やぶ地区が指定を受け十八戸が調査の対象となつて完了しましたが、十二月より二月まで三和地区が指定を受けました。この地区内で十二、三戸が調査の対象となります。この調査は月末の一週間に於いて十四才以上の者の労働時間を調べるのであります。

クリスマス

クリスマスは12月25日がキリストの降誕日として、その日をクリスマスとしたことゝ伝えられている。

クリスマスツリーについてもいろいろの説があるが、八世紀ドイツの宣教師が、カシの木に人を犠牲として捧げるパガンの儀式を鎮圧しようとして、彼に従う人々に森の中で「緑の葉をつけ天の星をさすモミの木は喜びと平和のシンボルだ、みんな暗い森でカシの木をとりまき血なまぐさい捧げものをとりやめなさい。そのかわり、これを明るい家へ持つて帰つてその木をとりまき救世主の誕生を祝いなさい」とモミの木を指して言つたのがそのまゝ受けつがれたと言われる。

フランス、アメリカ、日本のはにぎやかだけれども、カトリック信者は静かな祈りの日として、或は教会で、或は家庭で24日の夜から朝にかけて祈りつづける。

外国に共通なのは贈りもので、はじめはクリスマスにキリストにさしあげる習わしだつたものが、いつの間にか人々の間に取交されるようになった。日本では、ふだんの日でも贈りものをする事なく、その代りクリスマスには一年の交際を感謝して必ず贈りものをする習慣になつてゐる。

お歳暮やお年玉も日本調でよいが、子供達のために、忘年会の酒を減して、温いクリスマスの贈り方もよいと思う。

農協法制定十周年と 共済事業

農林大臣赤城宗徳

われわれは、まずもつて、われわれの協同の力によつて、われわれの生産をまもつていかねばならない。共済事業（生命共済、建物更生共済）は吾國の零細農業者が文字どおり、お互いの信頼と協力によつて、将来の偶発的な災害などに備え、さらに長期、かつ、計画的な財産の造成をはかることを目的として

またその造成過程において、蓄積されたみずからの資力を集中することにより、個別の経済力をもつては、とうてい実現することのできない農業生産構造の近代化を推進し、さらに農村の文化、厚生事業などの充実化によつて、農村の福祉と生活水準の向上に寄与することが使命である。それ故にこそ、農協共済の事業が農協事業の精華であるといわれる所以である。農協法制定十周年にあたり、共済事業の特別推進運動を展開しつゝあることはまことに有意義なことである。これを機会に全国の農民各位が、共済事業に対する認識を深めまたあらたにするにとともに一層の協力をさし、心をなやましてやみませぬ。

みのり共済

唯今県下各農協では、みのり共済と銘うって全戸加入運動を

推進致して居ります。肱川農協も歩調を合せて特別推進を致して居ります。

農協共済に加入してその掛金は農村に蓄積してお互の農業生産に活用しましょう……

契約申込は今が絶好の時です。「一に計画二に備えみんなそろつて農協共済」

（毎週月・水・金曜日の午前六時半より三十秒南海放送をききましよう）

十二月一日―十二月三十一日
正量 取引 月 間

正しく計るには
◎必ず検定証印のある計量器を使用すること

◎真正面から見ること
◎水平にすえつけ、何も乗せないとき正しく零点を示していることを確かめてから計ること

◎取引量の十分の一より小さい目盛のあるはかりで計ること
◎計量器は定期検査のあるときは必ず受検すること

雑草の花

人目にとまらないようなところに、可憐な草花を見つけたときは愛情が感じられる。この間仕事の合間に晩秋の上高地へいつて、帰りに浅間山麓の村で、半日草原で寝ころがって、青い空を眺めて時を過ぎたが、枯草に埋れて、りんどうや松虫草の咲いているのを見るのは実にたのしかった。人間生活でいえば、さしずめ庶民の生活への愛情ということになる。私はそう言う人々の中に、愛

情やかなしみの真実の姿をさがしたい。

人の心をとらえるものは美でなくてはならない。美とは何であるか。

精一杯につましく生きていく姿は美しい。雑草のように小さな生命であつても、自己を大切に喜びをもつて生きる姿は美しい。

友情とか家庭とか、恋愛、結婚などの型の中にもそれは見られる。美とは、はなやかに自分を飾ることではなく、人間性のいちばん本質的なものにふれ合う魂の感動ではないだろうか。

貧しさの中に咲く可憐な花にもたどる美しさがある。どこにもある。誰にもある。誰でも感じることができる筈だ。

美とはアクセサリを身につけることでなくて、心の問題であるとしみじみ思う。

主婦と生活
愛の花園から――

本月の出来ごと

十一月十一日 全国町村長大会東京に於て開かれる。池田村長出席

十二月 全国町村議長大会東京に於て開かれる。藤川議長出席

十三日 自治制施行十周年記念式典東京に於て開催。池田村長、藤川議長参列

山田庄太郎氏の式典において受章

肱川村教育委員会を開く
十四日 予子林地区赤痢保菌者二名収容

十六日 池田村長帰村

十九日 みつまた実態調査打合せを開く

廿一日 大谷、岩野利春君南米移民のため出発、神戸収容所入所

郡市収入役会本村に於て開催
廿二日 消防団分団長会開く
大洲保健所、大洲精神園共催による精神衛生一日相談所を開く

廿五日 国保運営委員会開く
廿六日 松山に於て日赤親授式挙行。本村代表 綾井章江、福田永、下石政美、寺尾義孝の諸氏参列

廿八日 山田庄太郎氏祝賀会開く

卅日 県林務課長正山、赤岩路視察

十二月一日 防火デー
二日 乳牛結核及びウイルスオ病検診

五日 農村青年建設班結成式挙行
六日 民生委員会を開く

挨拶

勤務評定に關して、種々御心勞をかけ、教育上いろいろ村民の方々に不安の念を抱かしたと存じます。幸いに円満に解決して、教職員も落着いて学校での教育に努力を続けています。

教育委員会も学校も、学校現場の混乱や不正常的な授業が行われることのないよう努力したつもりですが、何かと行届かず御不満が多かつた上存じ心からおわびを申し上げます。

P.T.A.の方々の心から教育の事を心配される愛情に心から敬意を表しますと共に、私共関係者によせていたゞいた、温い想いやりある御叱声、御理解に心からお礼を申し上げます。

これからも本村の教育のために一層努力する覚悟ですので、御協力をお願い申し上げます。

肱川村教育委員会
池田村校長 会

山々の粧いも、街々の気配も、すつかり年末らしくなり、今年も師走がやつてきた。随分あわたゞしい月日を毎年送っているが、一年間を総反省してたゞ忙しかつた。と言う印象が残っているばかりだつたり、借金が残っているばかりの年末では、人生何の為にあるのかわからない。忙しい中に、ほのほのとした人間的な温かさほほしい豊かさほほしいと思う。

毎月十二月になつて「忙しかつたけれど本当によい一年だつた」と言えるようになりたいと思う。その為には経済的物質的生活の上でも、内的精神的な生活の上でも計画性とゆとりのある生活のし方をしない限りあり得ないだろう。毎年同じことを思い同じような決意をしないでもないのに、年末になると矢張り、後悔することは多い凡庸のまじさをしみじみと体験する。

それにしても、村民の方達が、来年はよい年を迎えられますよう祈つて、今年最後の村報をお手もとへ送ります。

原稿が少くまとめが粗雑でよい村報になりませんが、来年はどしどし御投稿もいたゞいてよい村報にするよう御協力下さい。

これからしもや雪や木枯しやらで寒い日が多くなりましよから、風を引かないよう身体を大切にしてください。

この冬を過ぎたいものです。

ミソ汁

ミソ汁をおいしく作るのは何と言つてもおいしいミソを使うことだが、自家製は別として、百匁20.円ぐらゐのものは脱脂グイズが原料で脂肪が少い。25円から30円ぐらゐのものは輸入グイズが原料で脂肪は多いが味はおちる。

内地グイズを使つたのは一番味は良いが百匁35円以上になる。

最近では強化ミソが出回つている。強化ミソの中にもB1だけのものB1B2、B1B2のカルシウム、B2とAのものど四種ある。

日本人がお茶漬の味と同じように親しむミソ汁をおいしくしよう。

村の人口	32,113	0	30
男	4,071	1	1
女	3,767	1	1
計	7,838	2	2
世帯数	1,454	4	0

村報になりませんが、来年はどしどし御投稿もいたゞいてよい村報にするよう御協力下さい。

これからしもや雪や木枯しやらで寒い日が多くなりましよから、風を引かないよう身体を大切にしてください。

この冬を過ぎたいものです。